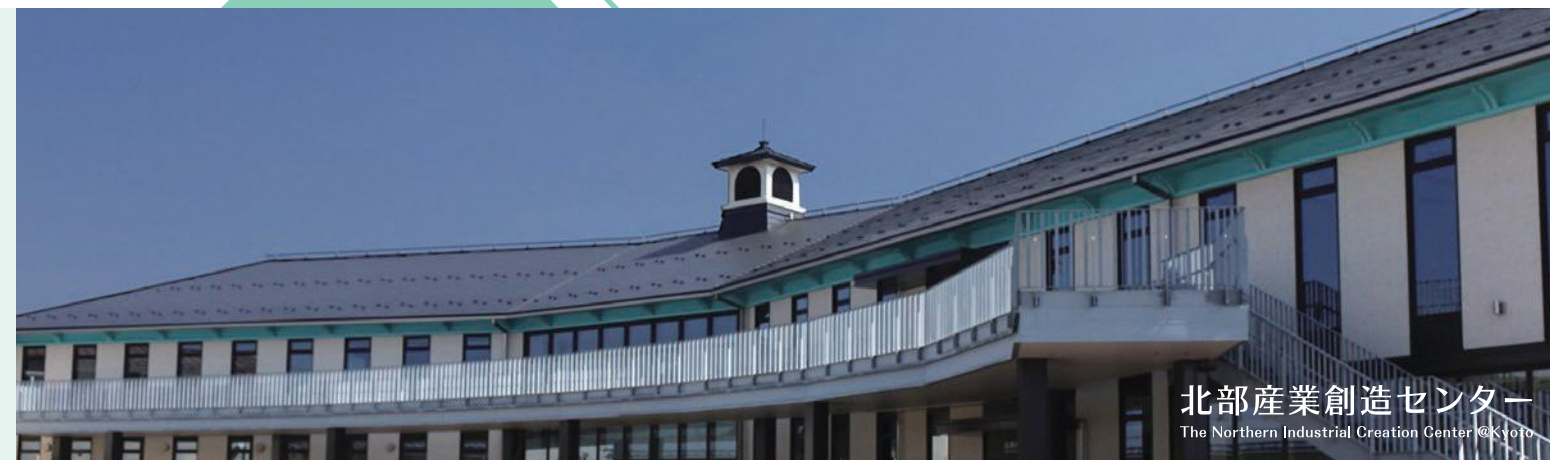




https://www.kptc.jp/p_chutan/



京都府中小企業技術センター

中丹技術支援室

中丹技術支援室は、中丹地域をはじめ京都府北部地域におけるのものづくり産業等への、技術支援や産学公連携による研究開発等の支援拠点です。

2007 年から北部産業技術支援センター・綾部にて、地域内外の多くの中小企業の皆様にご利用をいただいております。2018 年春、京都府、綾部市、京都工芸繊維大学、グンゼ株式会社が連携して新たに整備された産学公連携拠点「北部産業創造センター」に移転リニューアルし、機能を強化しました。

お問い合わせ

●中丹技術支援室

〒623-0011

京都府綾部市青野町西馬場下 33-1

北部産業創造センター内

TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341

E-mail chutan@kptc.jp

●（本所）京都府中小企業技術センター

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町134

TEL 075-315-2811 FAX 075-315-9497

●けいはんな分室

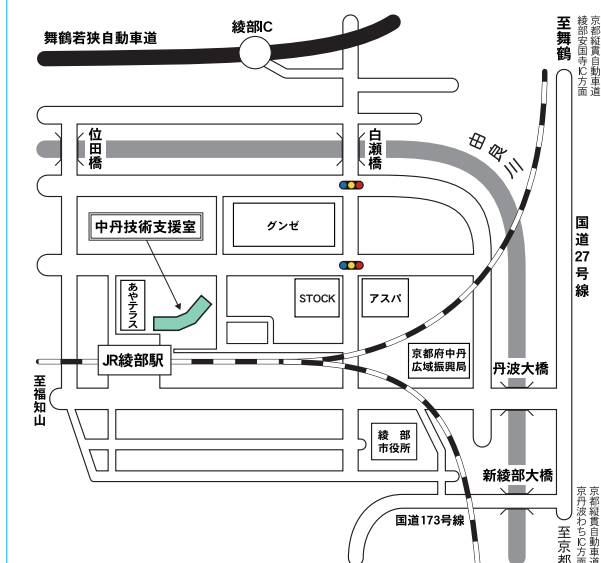
〒619-0294

関西文化学術研究都市（京都府 精華・西木津地区）

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)内

（木津川市木津川台9丁目6 / 相楽郡精華町精華台7丁目5）

TEL 0774-95-5050 FAX 0774-66-7546



ご利用案内

開所日：土曜、日曜、国民の祝日及び
年末年始（12月29日～1月3日）を除く日

開所時間：午前8時30分～午後5時15分
（正午～午後1時を除く）
ただし、機器貸付時間は 午前 9 時～午後 5 時

交通のご案内

- お車でお越しの場合
 - ・ 京都市内から 京都縦貫自動車道「京丹波わち」IC から 国道 27 号経由 20 分
 - ・ 大阪・神戸方面から 中国自動車道経由「吉川」JCT 舞鶴若狭自動車道「綾部」IC から 6 分
- J R をご利用の場合
 - ・ J R 「綾部駅」下車 北口ロータリー隣接

事業内容 ～ものづくり中小企業への技術支援

◆ 技術相談・支援

企業が抱える技術上の課題の解決や技術水準の向上、新製品・新技術の開発を促進するため、職員や技術指導員が相談に応じます。また、テレビ会議システムを活用した遠隔相談・インターネット相談や、企業の現場に赴く巡回相談・指導も行います。

◆ 試験分析機器・加工機等の開放

試験・分析・測定・加工用の機器、約 100 機種がご利用可能で、技術の改善や研究開発等にご活用いただけます。また、機器の取り扱いやデータ解析等のサポートも行います。

◆ 依頼試験

企業からの依頼に応じて、工業材料や部品・製品等の試験・分析・測定などを行い、試験結果を報告します。
(依頼試験の対応項目の多い本所へのお取り次ぎもしますので、まずはご相談ください。)

◆ セミナー・研究会等の開催

企業の技術基盤の強化を図るため、セミナー、研究会等を開催し、技術者・研究者の育成を支援します。

1. セミナー・講座 企業の技術力向上を支援するための機器活用セミナーや、IoT 技術等新分野への進出を支援する講座を開催（※テレビ会議システムにより、本所のセミナーを受講いただけます。）
2. 技術研究会 加工技術力や製品開発力などに加え材料応用・3D 解析技術に対応した研究会を開催
3. 工業研修 綾部工業研修所と共催で、地域に根ざした技術者養成のための工業に関する基礎教育を開催（機械科コース、電気科コース：夜間開講）

◆ 研究開発等の支援

企業の研究開発や新分野への進出・新事業展開を支援します。

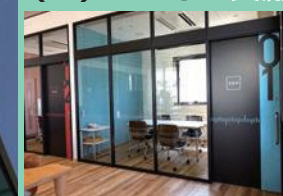
◆ 産学公連携・地域連携の推進

企業と大学、高等専門学校等との連携をコーディネートし、地域資源を活用したネットワークの構築を支援します。



北部産業創造センターの4大機能

（１）ビジネス交流の「場」の提供



イノベーションを起こす多様な人々の交流から、新産業の芽を創出

（２）事業化の促進



大学研究の知見、公設試のノウハウを提供し、「その場」での本格的な R&D、迅速な試作・実証を支援

（３）ものづくりの競争力創出



開発のスピードアップ、技術・生産性・品質等の向上を支援

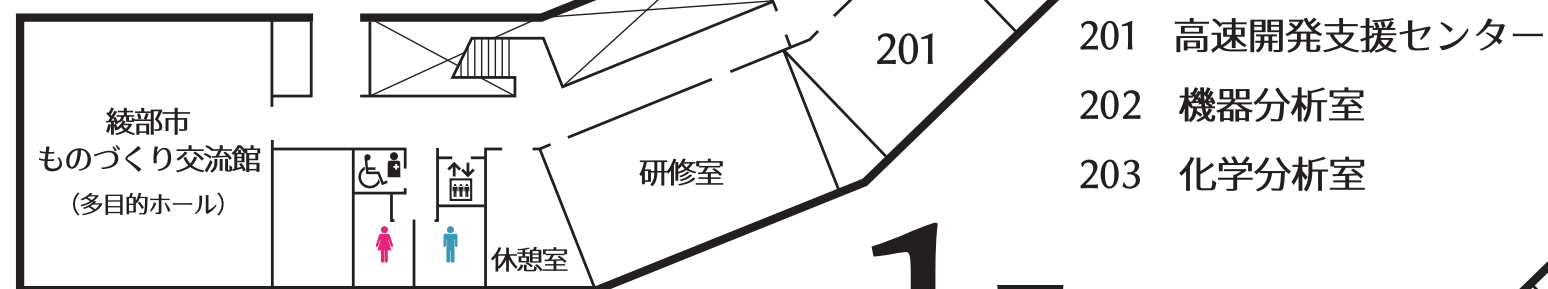
（４）産業人材の育成



基本的な工学知識から高度な研究、設計技術、品質管理手法等まで習得でき、開発プロジェクトを導くことができる産業人材を育成



2F



1F



◆ 高速開発支援センター

設計・開発のスピードアップ・低コスト化を行うためのシステムをご利用いただけます。

CAE (Computer Aided Engineering) システムでは、構造・流体・電磁界の物理的特性のシミュレーション及びそれらの連成解析が可能で、モデリング、リバースエンジニアリング、試作まで一連のプロセスを行える機能を充実しました。

